

消化器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

HER2 過剰発現*を有する治癒切除不能進行・再発胃癌に対するトラスツズマブ併用フッ化ピリミジン系薬剤+シスプラチン療法(初回化学療法)の観察研究

*HER2 過剰発現とは・・・

「HER2」は、細胞の表面にあるタンパク質です。細胞の増殖を促す信号物質の「センサー」としての役割をもち、正常な細胞でも細胞の増殖機能の調節にかかわっています。がん細胞の中にもこのHER2をたくさんもつ（＝「過剰発現」）ものがあることがわかっています。

がん細胞の表面にHER2というタンパク質を多くもつ胃がん(HER2過剰発現を有する胃がん)に対しては、HER2に選択的に作用することによってがん細胞を攻撃するトラスツズマブという薬の効果が確認されています。

[研究機関] 北海道大学病院消化器内科

[研究責任者] 小松 嘉人（腫瘍センター・准教授）

[研究の目的]

HER2 過剰発現を有する胃癌の患者さんにおける初回化学療法としてのトラスツズマブフッ化ピリミジン系抗がん剤、シスプラチンの併用療法の治療効果を調査すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胃癌の患者さんで、平成 23 年 3 月から平成 28 年 6 月の間にトラスツズマブ、フッ化ピリミジン系抗がん剤、シスプラチンの併用療法（カペシタビン+シスプラチン+ハーセプチン療法、5-FU+シスプラチン+ハーセプチン療法、ティーエスワン++シスプラチン+ハーセプチン療法など）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、病理組織検査、画像検査、心エコー検査）、合併症・既往歴の有無、病歴・治療歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 結城 敏志

電話 011-706-5657 FAX 011-706-5657